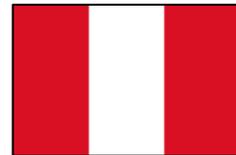


セチュラの風だより



2020年4月 緊急号

ペルー コロナウイルスの状況！

西島 将 (Nishijima Tadashi)



今回は、WHO が世界的流行宣言に踏み切った新型コロナウイルスのペルーの状況を緊急報告します！

ペルーでは、3月上旬に初の感染者が確認されましたが、その後の政府の対応が迅速でした。始めに教育機関の3月30日までの閉校を宣言しその後、国家緊急事態令を発出しました。全世界のボランティア達は、日本への業務一時帰国を行います。悔しいですが状況改善を信じ、ペルーで子供達にまた教えます。



ペルー時間の3月15日20時に、ペルー政府はペルー全土に28日間(3月16日から4月12日の間)の国家緊急事態令を発出しました。

この緊急事態令により、ペルーの陸・海・空・河川すべての国境が、16日23時59分より閉鎖されました。国内移動は、保健医療や食料等の生活必需品の購入のみ認められそれ以外は、拘束・逮捕の対象になりません。その結果、勤務や海外渡航も禁止されました。

セチュラは、賑やかで安全な街ですが、国家緊急事態令発布後は誰も外を歩いていません。異様な雰囲気でした。

なぜなら、武器を持った警察官や軍隊が警備し不要な外出者を発見すると逮捕する危険性があるので。いつもは外で音楽が流れる陽気な街の違う面を知り、事の重大さを知り恐怖を覚えました。

市場には同僚に付き添ってもらい、買い物後に、手洗いが義務付けられました。海外で生活する大変さを改めて知りました。



自宅待機を経験して

1人で自宅待機を経験し、不安や恐怖と苛立ちで今までに経験した事のないストレスでした。

ニュースで情報を得ようにもスペイン語なのでまるでリスニングテストを受けているようでした。また、読書や娯楽等で過ごせるのも数日が限界でした。その時、職場の仲間達が送ってくれた「業務用ジャワカレー」が僕を救いました。日本の慣れ親しんだ味は僕に元気と希望を与えました。ありがとうございました！
買い物にあまり行けず、カレーを毎日食べていました(笑)

